

作成日 1997年 5月 1日

改訂日 2017年 7月31日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	電解液 S-203		
会社名	株式会社 中央製作所		
住所	名古屋市瑞穂区内浜町24番1号		
担当部署	研究開発部		
電話番号	052-821-6196	F A X	052-823-2796
整理番号	S - 2 0 3		

2. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学名 (又は一般名)	水酸化ナトリウム水溶液		
成分及び含有量	水酸化ナトリウム	4 %	水 96%
化学特性 (化学式)	NaOH		H ₂ O
官報公示整理番号	1-410 (化審法)		
C A S No.	1310-73-2		
毒劇法	劇物		
P R T R 法	非該当		

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	: 眼に入った場合の失明。
有害性	: 皮膚, 粘膜に対して腐食性があり, 眼に入ると失明することがある。
環境影響	: 水生生物に対して有毒である。
物理的及び化学的危険性	: 水酸化ナトリウム自体は不燃性であるが, 酸に接触すると発熱する。
主要な徴候	: 付着した皮膚, 粘膜の傷み。
分類の名称 : (分類基準は日本方式)	急性毒性物質, 腐食性物質

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	: 直ちに付着または接触部を多量の水で十分に洗い流す。 汚染された衣服やくつは速やかに脱がせる。 速やかに医師の処置を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流し, 速やかに眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 多量の水を飲ませた後, できれば卵白を混ぜた牛乳を飲ませ, 医師の処置を受ける。患者に吐かせることはかえって侵され薄くなった胃壁を破ることがあるので絶対行わない。

5. 火災時の措置 :

消火剤	: 炭酸ガス, 粉末消火器, 注水厳禁
使ってはならない消火剤	: 特に無し
火災時の特定危険有害性	: 特に無し
特定の消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。
消火を行う者の保護 (保護具等)	: 空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 保護具を着用する。
環境に対する注意事項 : 漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。
除去方法 : 漏洩した場所は大量の水で洗い流すか、希酸を散布して中和した後、水で十分に洗い流す。
二次災害の防止策 : 作業時には必ず保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 腐食性が強いので、取扱い時には適切な保護具を着用する。
作業終了後は必ず顔や手を洗う。
保管 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
許容濃度 : 日本産業衛生学会 (1990 年度版) : 水酸化ナトリウム結晶 2 mg/m³
ACGIH (1989 年度版) : 水酸化ナトリウム結晶 2 mg/m³
管理濃度 : 設定されていない。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 必要なし。
手の保護具 : 保護手袋
眼の保護具 : 保護めがね
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : 液体
色 : 無色透明
臭い : 無し
pH : 13.2

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

- 沸点 : 約 100℃
引火点 : 無し 発火点 : 無し

爆発特性

- 爆発限界 : 爆発しない。
密度 : 1.04

溶解性

- 水に対する溶解度 : 水酸化ナトリウム結晶 55% (20℃)
溶媒の溶解性 : 無し

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の使用においては安定である。
反応性 : 酸と反応する。
避けるべき条件 : 高温
避けるべき材料 : アルカリに溶解する材料
危険有害な分解生成物 : 無し

11. 有害性情報

皮膚腐食性：皮膚，粘膜を腐食する。

急性毒性：うさぎ 経口 LD₅₀=500mg/kg 水酸化ナトリウムとして。

感作性：繰り返し接触すると皮膚表面の種々の組織を侵し，直接刺激性の皮膚炎又は湿性湿疹を起こす。

慢性毒性・長期毒性：データ無し

がん原性：データ無し

変異原性：データ無し

催奇形性：データ無し

生殖毒性：データ無し

12. 環境影響情報

残留性./分解性：データ無し

生体蓄積性：データ無し

生体毒性：データ無し

魚毒性：水生生物に対して有毒である。

金魚試験 LD₀ =水酸化ナトリウム結晶 157 mg/L

LD₅₀ =水酸化ナトリウム結晶 189 mg/L

LD₁₀₀=水酸化ナトリウム結晶 213 mg/L

13. 廃棄上の注意：大量の水で希釈する。または，酸（希塩酸，希硫酸等）で中和させた後，多量の水で希釈して処理する。

空容器は内容物を水洗いした後，産業廃棄物業者に廃棄を委託する。

14. 輸送上の注意：輸送に際しては直射日光を避け，容器の漏れのないことを確め，落下，転倒，損傷がないように積み込み，荷くずれ防止を確実に行う。

国連分類：クラス8（腐食性物質），等級II

国連番号：1824

緊急時応急措置指針番号：154

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質（Y類）

労働安全衛生法：法第57条第1項(令第18条)名称等を表示すべき危険物及び有害物（政令第606号）

法第57条の2(令第18条2)名称等を通知すべき危険物及び有害物（政令第606号）

船舶安全法：危規則第3条危険物告示別表第1腐食性物質

航空法：施行規則第194条危険物告示別表第1腐食性物質

港則法：施行規則第12条危険物（腐食性物質）

16. その他の情報

引用文献

① 新版危険有害物便覧 労働省安全衛生部監修中央労働災害防止協会（1986）

② 危険物ハンドブック ギュンター・ホンメル編

シュプリンガー・フェアラーク東京（1991）

③ 毒劇物基準関係通知集 改訂増補版 厚生省薬務局安全課 監修薬務公報社（1991）

④ 化学防災指針 日本化学会編 丸善（1979）

⑤ 12093の化学商品 化学工業日報社（1992）

* この製品安全データシートは，各種の文献などに基づいて作成していますが，必ずしもすべての情報を網

羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。

また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の手理扱いを対象としたものであり、特殊な手理扱をする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。